

事務事業名		観光施設災害復旧事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興			
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)	
根拠法令				☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 28 年度～ 31 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	商工港湾部観光推進室		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 11 02 02 00 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	鈴木 弘			
	係 名	電話			
	担当者	高木 隆幸	内線		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
綾里、越喜来浪板、吉浜の3海岸に建設されていた海水浴場のトイレ・シャワー室は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で全壊しており、その施設を復旧するものである。 震災後は海岸周辺で復旧・復興関連工事が施工されていたことから海水浴場は休止としていたが、越喜来浪板海岸は平成28年12月に、吉浜海岸は平成29年6月に工事完了の見込みが示されたことから、平成29年7月から海水浴場を再開することとし、併せて施設整備をすることとした。 なお、綾里海水浴場周辺の工事完了見込みは平成31年3月末日となっていることから、平成30年度に施設整備をすることとしている。 事業費は、委託料、工事費として支出している。				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

越喜来浪板、吉浜海水浴場のトイレ・シャワー室の災害復旧建設工事発注。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

越喜来浪板、吉浜海水浴場のトイレ・シャワー室の災害復旧建設工事
 綾里海水浴場のトイレ・シャワー室の災害復旧工事に伴う設計業務委託

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

- ・トイレ・シャワー室
- ・海水浴客

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・トイレ・シャワー室が整備される。
- ・海水浴客に海水浴場を快適に利用してもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

- ・大船渡市を訪れる。
- ・魅力がPRされ、認知度が高まる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 被災施設数	施設
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 復旧施設数	施設
キ 復旧率	%
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 海水浴客数	人
シ 観光入込客数(年実績)	千人
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円		8,100	79,110	96,014	45,500	
		事業費計 (A)	千 円	0	8,100	79,110	96,014	45,500	0
		正規職員従事人数	人		1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間		40	40	40	40	
		人件費計 (B)	千 円	0	160	160	160	160	0
トータルコスト(A)+(B)			千 円	0	8,260	79,270	96,174	45,660	0
⑤活動指標		ア	施設		3	3	3	3	
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	施設		0	0	2	3	
		キ	%		0	0	66.7	100	
		ク							
⑦成果指標		サ	人		0	1,051	11,000	14,500	
		シ	千人		730	707	1,200	1,200	
		ス							

事務事業ID	1482	事務事業名	観光施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
綾里、越喜来浪板、吉浜の3海岸に建設されていた、海水浴場のトイレ・シャワー室は平成23年3月11日に発生した東日本大震災で全壊した。震災後は海岸周辺で復旧・復興関連工事が施工されていたことから海水浴場は休止としていたが、越喜来浪板海岸は平成28年12月に、吉浜海岸は平成29年6月に工事完了の見込みが示されたことから、平成29年7月に海水浴場を再開することとし、併せて施設整備をすることとした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
市内の海岸では、堤防等の復旧工事が進み、浪板海岸では平成28年12月、吉浜海岸では平成29年6月に工事が完成し、綾里海岸は平成30年度の完成が見込まれている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
平成26年9月に策定した「大船渡市観光ビジョン」では、被災した施設の早期復旧に取り組むこととしている。また、越喜来地区からは、海水浴場の早期再開のためトイレ・シャワー室の復旧について要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	トイレ・シャワー室の整備により海水浴場が快適に利用でき、海水浴客は増加することから、豊かな地域資源を活用した観光の振興の政策と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	トイレ・シャワー室の管理は市が行っていることから、施設の災害復旧を市で行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	被災した施設の災害復旧であり、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	原形復旧事業であり、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	事業廃止により海水浴客の減少が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	原形復旧に係る必要最低限の事業費である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	設計業務は外部へ委託している。また、設計内容については建築技師等から支援を受けており、発注等に係る最低限の業務時間である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	受益者は海水浴客であり公平、公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 吉浜海岸では海中ガレキが発見されたが、海岸管理者である岩手県(担当: 大船渡農林振興センター)からは、「ガレキ撤去はしない」という意向が示されており、今後の海水浴場の環境整備に係る事業実施主体及び事業費の財源が課題となっている。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	・浪板海水浴場、吉浜海水浴場とも平成29年の海水浴シーズン終了以降にトイレ・シャワー室の災害復旧工事を発注し、年度内完成をめざす。併せて、吉浜海水浴場の海中ガレキ撤去に取り組む。 ・綾里海水浴場は、平成31年度の再開をめざし、トイレ・シャワー室の復旧事務を進める。